

都市史

稲荷湯 東京都北区滝野川

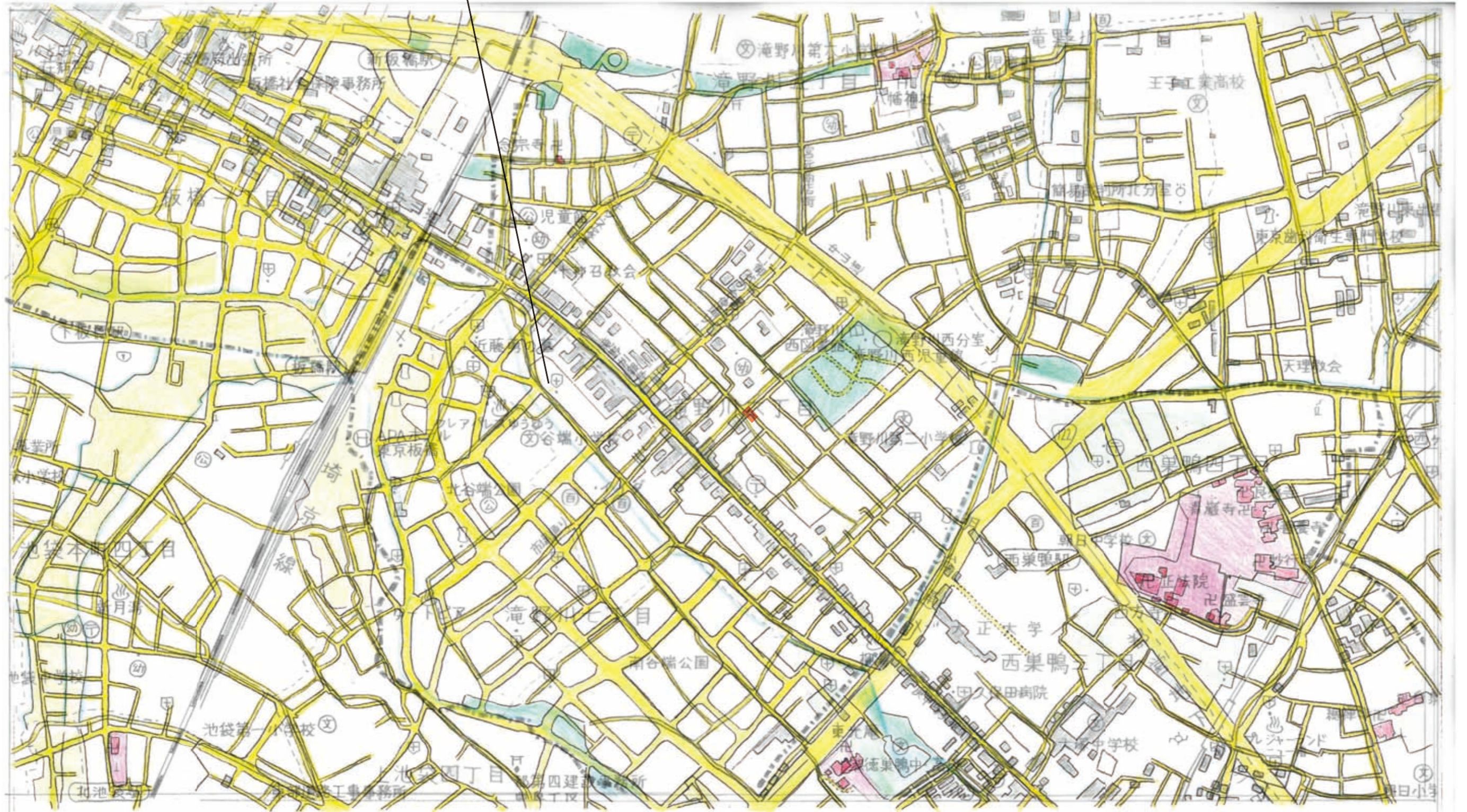


16N1056 桑原 楽都
16N1074 鈴木 真優
16N1094 鶴川 留美
16N1125 藤田 晃也
16N1130 松川 友哉
16N1134 満石 建人
16N1147 山崎 百々美

旧中山道は滝野川銀座に変わった。

主要な道路は明治時代の道をもとに拡張しているが、
その他の住宅を区画する道は細くなっている。

千川上水は大部分が暗渠になっている。



線路はこの区間は明治時代そのまま使われている。

畑や田んぼ、樹林が住宅に変わった。

お寺やお墓の位置はほぼ変わっていない。

旧中山道
(現在の滝野川銀座)



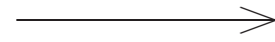
中山道
首都高の下



明治通り



旧中山道



滝野川銀座商店街

旧中山道は江戸時代の五街道のひとつで江戸の日本橋と京都の三条大橋を結んでいた。江戸から数えて一番目の宿、板橋宿があり栄えた宿場町であった。江戸時代、滝野川はブランド野菜の産地として有名だった。中山道沿いに種苗店が立ち並ぶようになった。参勤交代で通る大名たちがここで買った種を自藩に持ち帰っていた。全盛期には20ほどの種屋があり、別名「種子屋街道」と呼ばれていた。

旧中山道に相当する場所に、戦前から存在する滝野川銀座商店街がある。滝野川では随一の商店街だったが、現在は住宅と店が混ざった商店街になっていて落ち着きがある。シャッターが下りている場所もあるが、人々に利用され続けている。



滝野川種苗

現在でもいくつかの種屋が残っている。所々に老舗があり、昔の面影がある。



昭和初期



現在



東京種苗



亀の子束子
明治40年に創業した老舗の束子屋。趣のある洋館。

いくつかの商店街と隣接しており、気が付いたら他の商店街に入り込んでいたり散策する魅力がある場所である。



庚申塚商店街